HE JOMO SHIMBUN　平成2年（1990年）10月30日　（火曜日）　第34386号　（日刊）

上毛新聞

発行所（〒371）
前橋市古市町1－50－21
上毛新聞社
電話　前橋(0272)51－4341(代表)
夜間・休日電話
(編集)4343・4344
(広告・販売・事業)4392
(出版)4347
(制作)4345　(発送)4363

© 上毛新聞社　1990

住民参加で 個性いかす

理想の街並みに

前橋市が地区計画

前橋駅南口など5地区

前橋市は、住み良い街づくり推進のためJR前橋駅南口や新前橋駅南など五地区を対象に、住民合意を前提に建物用途や敷地面積、建物の色などに地域にあった規制を加える「地区計画」制度を初めて導入、既に二十九日までに事前の計画縦覧、意見書提出などの手続きを終えた。同市では今後、都市計画審議会などの審議を経て本年度内に正式決定したいとしており、個性ある地域づくり、街づくりのモデルケースとしても注目されている。

田園調布モデルに

「地区計画」は、都市計画法と建築基準法に基づく制度で、住民の合意、要望を前提に市街地の特定地域を対象として住みよい街づくりを具体的に進める制度。地区内の道路や公園計画、建物用途、建ぺい率などに対して地区の特性を生かしながら計画の内容や規制を加えるもの。「線引き」設定など従来の都市計画が都市全体を考えての計画であるのに対し、地区計画は部分に対する計画。策定段階から住民の意向を反映させることが基本で、住民参加の街づくり制度といわれる。最近では東京都太田区の高級住宅地、田園調布が住宅地細分化防止を目的に同制度導入を決めている。

垣根の高さ1・5㍍に

前橋市の地区計画は、同市の線引き・用途地域見直しに伴うもので、対象地区は「荒砥工業団地」（五二・二㌶）「上細井住宅団地」（六・一㌶）「下大島東地区」（三・一㌶）「新前橋駅南地区」（二五㌶）「前橋駅南口地区」（二・五㌶）の五地区。

同計画素案によると各地区ごとの規制内容は、荒砥工業団地の場合、地区内には風俗関係の建物や学校、神社などは建てられないほか、敷地面積五千平方㍍以上、オープンスペース確保のため壁面位置を五㍍後退させるなどの規制がかかる。上細井団地に関しては地区施設道路のスペース確保、敷地面積は最低で二百平方㍍、建物の高さ十㍍（軒高七㍍）、垣根・生け垣の高さ一・五㍍、壁面位置一㍍後退など。

下大島東地区（下大島町）は住宅団地などの予定地。都市計画道路を二本設けるほか、自動車関連以外の工業施設や千平方㍍以上の倉庫業の倉庫、風俗関係の建物は建てられない用途規制をする。敷地面積は二百平方㍍以上、高さ制限二十㍍、壁面後退一㍍以上。

5～10年先に効果

前橋駅南口地区（南町）、新前橋駅南地区（古市町一丁目）では、決められた道路沿いの建物の一階部分には店舗、事務所、旅館以外は規制され、建物の色も白または茶色とすることが求められる。

また前橋駅南口地区では狭い敷地に高層の建物を建てる通称ペンシルビルを抑制するために、敷地面積に応じて三段階に容積率を変えて対応するなどの工夫をしている。

この地区計画が正式決定すると新築や建て替えの建築物がその対象となるが、市では「五年から十年先にその効果が表れる制度」と話している。

主なニュース

江戸川競艇でも偽1万円（3面）
ソ連の調停工作は不調（4面）
竪穴式住居にナゾの階段（20面）
琴錦（箕郷出身）が西の関脇に昇進（21面）

ECORS
ECORS
ECORS
錦社
■コミュニステーション
[illegible]
TEL 0272-51-3787

大統領と2者会談

イラク訪問で中曽根元首相

平和的解決を表明

イラク訪問を前にアルリファイ駐日イラク大使（左）と会談する中曽根元首相＝東京・平河町の事務所

アルリファイ駐日イラク大使は二十九日午前、東京都内の事務所に中曽根元首相を訪ね、イラク友好平和連帯協会のサルマン会長（大統領府長官代行）からのイラク訪問の招待状を手渡すとともに、中曽根氏と自民党代表団（団長・佐藤幹事長代理）のイラク訪問をめぐって意見交換した。

会談で中曽根氏は「中東問題の平和的解決のため、いろいろ話をしてみたい。長時間やってみたい」と述べ、平和的解決に尽力する考えを表明した。アルリファイ大使は「中曽根氏も自民党代表団もフセイン大統領と会談することになっている。中曽根氏と大統領が二人だけで会談する場もセットしてある」とし、中曽根氏らの訪問をイラク側としても重視している。

また、訪問日程は、来月三日から七日にずれ込む見通しとなった。

これは同大使が、フセイン大統領との会談を四日以降にしてほしいと要請したためで、当初予定していた一日出発を延期することで最終的な調整を進めている。これまでのところ、三日早朝に特別機で羽田空港を出発、三日夜（現地時間）イラク入りする方向。四日にもフセイン大統領と中曽根氏、訪問団の会談が実現する見通しだ。

中島氏らも訪問

自民党代表団のメンバーには中島源太郎氏らの参加が決まった。

運賃アップ申請へ

わたらせ鉄道が平均5%

わたらせ渓谷鉄道は二十九日、平均五%（消費税分を含む）の運賃アップを、近く関東運輸局に申請する方針を決めた。距離別の値上げ幅など細部を煮詰め、来年四月から実施したい考え。同社としては、昨年三月にJR足尾線から第三セクターに転換・開業後、初の値上げとなるが、好調な運送実績を背景に値上げ幅は当初の予定（一〇%）より圧縮できそう。

（関連記事　経済面）

改定案によると、運賃アップの内訳は、当初経営計画に基づく隔年値上げ分が二%、消費税転嫁分が三%。旅客区分では、普通が大人四・九八%、小人六・三〇%、定期が通勤五%、通学四・九八%で、これによる収入増を千九十九万九千円（うち消費税六百五十七万円）と見込んでいる。

申請通りに認可された場合、同社の試算では、普通（大人）の初乗り（三㌔まで）が十円アップの百七十円、桐生—大間々間が十円アップの二百三十円、桐生—水沼間が二十円アップの四百五十円などとなるが、桐生—足尾間（現在千円）など遠距離区間の値上げ額が大きくなるため、全体を調整する考えだ。

名代
伊香保のおみやげに
湯の花饅頭
清芳亭
伊香保温泉入口
☎0279(72)2743

本格着工へ見通し

北陸新幹線・高崎軽井沢間

16日に安全祈願祭

北陸新幹線高崎—軽井沢間（四二・一㌔）の大部分を占める本県側工事について安全祈願祭が来月十六日に開かれることが決まった。既に長野県側では昨年八月に工事がスタートしており、本県側でも本格着工の見通しがついたことから同工事は一気に加速することになりそう。

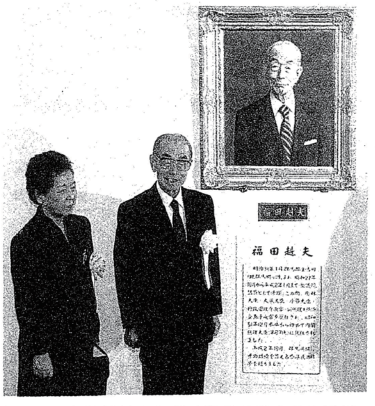
日本鉄道建設公団によると、同区間の本県側では沿線地元説明会などを経て、用地幅くい打ち、用地買収などが進められていたが、既に工事用道路の拡幅が完了。同区間の約六〇%を占めるトンネル部分、高崎側から里見トンネル（榛名町・安中市、二・六㌔）秋間トンネル（安中市・倉渕村・松井田町、八・三㌔）一ノ瀬トンネル（松井田町、六・二㌔）碓氷峠トンネル（同、六・一㌔）の四トンネルの工事にいつでも入れる状況にあった。

なお、トンネル化か地上化かをめぐって住民との調整が済んでいない群馬郡榛名町の久留馬地区や、用地買収交渉が進んでいない地区などもあることから、鉄建公団では理解と協力を求め説明を続けていくことにしている。

元気に「上州魂忘れず」

名誉県民顕彰式

福田元首相晴れやか



名誉県民の肖像画の前に立つ福田元首相と三枝夫人

本県三人目の名誉県民となった福田赳夫元首相（八五）＝東京都世田谷区野沢四丁目＝への名誉県民顕彰式が二十九日、県庁で開かれ、福田元首相は三枝夫人（七八）とともに出席、清水知事から名誉県民称号記と記念品を贈られた。

式典は名誉県民の肖像画が飾られている知事室前フロアで行われ、知事、副知事ら県幹部、県議会正副議長、各党代表者ら四十人が出席。濃紺のスーツ姿の福田元首相は、清水知事から名誉県民称号記を受けると、笑顔で知事と握手。出席者に深々と頭を下げてお礼のあいさつをした。

清水知事から「先生は〝経済の福田〟といわれるだけでなく、日本の国際的な地位向上にも尽力され、世界の平和、日本の繁栄、そして本県の発展に貢献され、百九十六万県民の誇りとするところです」とお祝いの言葉が送られた。

この後、福田氏夫妻、清水知事、松沢県議会議長によって肖像画が除幕されると、大きな拍手が沸き起こった。

これに対して福田氏は「十八歳で群馬を離れたが、心はいつでも群馬にあった。上州魂、人のために奉仕するという任侠（にんきょう）の心をいつも胸に生きてきた。これからも世のため、人のため、県のため、そして日本、世界のために頑張りたい」と元気いっぱいにあいさつした。

肖像画はモダンアート協会会員で県展常任理事の正田壌氏＝新田郡新田町＝による油彩（15号）。土屋文明氏の隣に掲げられた自らの肖像画をながめ、「男前を競うな」と目を細めた。また、記念品の一つとして桐生市境野町の織物作家、新井賢氏のコンピューターによる桐生織の肖像画も贈られた。

福田元首相は、今年二月、三十七年余の議員生活にピリオドを打った。「日本の繁栄と世界平和に尽力した本県を代表する政治家」（名誉県民選考委員会）として、元衆院副議長の長谷川四郎氏（故人）、歌人の土屋文明氏に続く三人目の名誉県民に選ばれた。

群馬町でも名誉町民顕彰式

生まれ故郷の群馬郡群馬町でも二十九日、同町棟高の中央公民館で、福田赳夫氏名誉町民顕彰式が開かれ、志村喜三郎町長が福田氏に名誉町民推挙状などを手渡した。

福田氏は現在の同町足門生まれ。地元の金古小から旧制高崎中に進んだ。同町の名誉町民では歌人で文化勲章受章者の土屋文明氏に続いて二人目。

式典では、関係者が見守る中、志村町長が推挙状を手渡し、「福田さんは郷土の誇りです」とあいさつ。福田氏は幼いころの思い出を語った後、「名誉町民に選ばれ、感無量です」と感謝の言葉を述べた。

刻々…'91首長選 秋の陣

▶6◀

榛名町

【任期満了日　平成3年4月27日】

8年ぶり保守対決の可能性

清水　町長

前回（昭和六十二年）無投[illegible]だった榛名町長選だが、今[illegible]は現職の清水三郎町長（六九）[illegible]一期＝の出馬が確実視され[illegible]、町農協専務理事、石井[illegible]氏（五二）を擁立する動きも[illegible]きており、八年ぶりに保守同士の激しい選挙戦となる可能性が出てきた。

前々回（五十八年）の選挙では、石井国雄前町長（五十九年死去）の引退に伴い、清水町長と、前町長の長男の石井氏が出馬、新人同士の一騎打ちとなり、清水町長七千六百十三票、石井氏六千四百十九票と熾（し）烈な戦いを演じた経緯がある。

清水町長は「全町公園化」を掲げて町政の執行にあたっており、今回、正式な出馬表明こそしていないものの「公約した仕事がまだ終わっていない」として、三選出馬の意欲を見せている。一方の石井氏は、現在、出馬表明はしていないが、いずれ組織固めをして名乗りを上げるものとみられ、今後の動きが注目されている。

箕郷町

【同　平成3年3月3日】

竹腰町長の去就に注目

竹腰　町長

現職の竹腰武次町長（六七）の去就が注目される。昭和五十四年三月、高橋徳太郎前町長の急死により、竹腰氏は前町議の山田明男氏（故人）と一騎打ち。小差で山田氏を破り初当選して以来、五十八年、六十二年の選挙では連続無投票当選を果たしてきた。その間、新庁舎をはじめ保健センター、老人福祉センターの建設を手がけてきた。

四選については「ふさわしい人がいれば…」としてこれまで慎重な態度を取ってきたが「出馬への意向は堅そう」というのが大方の見方のようだ。

過去二回の無投票を含め、十一年も町政のかじとりをしてきたことに対する反発や飽きといった空気もないとはいい切れず、竹腰氏自身、慎重な姿勢を崩していない。

対立候補については現在のところ表立った動きはない。議会も九月の定例会で竹腰氏が態度を明確にしていないことから、十二月の定例議会では正式に話が出るものとの見方が強い。いずれにしても十二月をにらみ今月末から来月初めにかけ竹腰氏の去就が注目される。

群馬町

【同　平成3年5月5日】

志村氏の無投票3選有力視

志村　町長

群馬郡群馬町では、今までのところ前回同様対立候補の動きはなく、志村喜三郎町長（六三）の無投票三選が有力視されている。志村町長は、前々回の選挙で、前町長との激しい一騎打ちにせり勝って以来、「二十一世紀を見据えた住みよい街づくり」のスローガンに沿って、町内五小学校の建て替えや、平成四年度完成予定の大規模公園「水と緑の公園」の建設、さらに今年オープンした老人福祉センターなど、ハード面の整備に力を注いできた。次期選挙についてはまだ態度を明確にしていないが、「継続事業も多く、町政に責任を感じている」と話しており、十二月定例議会で出馬表明するとみられている。

榛名町長ら訪米

群馬郡榛名町の清水三郎町長、渡木潔議長らは二十九日、かねてから交流のあったアメリカ・ミズーリ州グランドビュー市を表敬訪問するため成田を出発した。

中学生の海外派遣を通じて交流を深めている両市町だが、今年五月にはハリー・ウィルソン市長らグランドビューの代表が同町を訪問。今回はその答礼を兼ねてのもので、同市の産業状況、行政、教育施設などを視察して六日に帰国する予定。

三山春秋

『利根沼田ひろばの会』から会報4号をいただいた。本紙の投稿欄〈ひろば〉から生まれた地域グループの一つで、会員の集い、会報の発行とも年二回のペースで実行。集いの方はこの秋（十一月十八日、沼田市中央公民館）で八回目になる▼第4号は随想、読書にちなむ話題、お知らせなどを、B4の用紙三枚に収録、六十三人の会員に届けられた。ワープロの普及でこうした会報も気軽に出せるようになった。半面、原稿集めは悩みのよう。「常連に偏りがちなので、次の集いの研究テーマに」と事務局の林とも子さん（沼田）▼ワープロ担当は川場村の小林文吉さんだ。小林さんはこんな文章を寄せている。「孫娘が敬老の日に村のお年寄りにだした手紙の返信がきた。やさしい文字で心のこもった文面に、感動しきり。〈ひろば〉に書いてみようかと思いつつ、一カ月がすぎてしまった…」と、感動したらすぐ書こうと思いながら、ままならぬ心のゆれをつづる▼「書く」ことは「読む」ことにも深くかかわっている。「書」を大漢和辞典（諸橋轍次著）で引いたら、本来の「かく」のほかに「もじ」（文字）「ふみ」（本、かきもの）とも読ませている。ちなみに「読」は声をたてて書物を誦（よう）する、とあった▼「底辺が広くなれば、山は高くなります。期待に沿うよう若い人の指導に努めます」—これは本年度の文化功労者に選ばれた、将棋十五世名人・大山康晴さんの抱負だが、その道の同好者がたくさん集まって研さんを積めば、心は広くなり、望みはますます高くなるだろう▼こんな金言も思い出した。『読書は人間を豊かにし、ものを書くことは人間を正確にする』

柿すだれ
利根のひさしの
日に透ける

爽やかに家族揃って笑顔の毎日。

自動車共済
最高に安い掛金・サービス満点
生命共済
安い掛金・大きな保障・貯蓄もできて楽しい海外旅行
傷害共済
家族そろって笑顔の毎日
火災共済
店舗・住宅・家財を守るあなたの安心プラン

もっとも親切な　もっとも有利な
群馬県火災共済協同組合
群馬県商工共済協同組合
理事長　山中庄太郎
前橋市大手町3－2－10☎(0272)32－2654(代)

中毛支部／前橋市大手町3-2-10(産業会館)　☎(0272)32-2346
西毛支部／高崎市問屋町2-7-8(高崎商工会議所)　☎(0273)62-1899
東毛支部／太田市浜町3-6(太田商工会議所)　☎(0276)46-9596

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。